

## 2021年6月3日開会 (通算109回)

例会開催日は、木曜日です。

### 開会点鐘・歌の斉唱

君が代

四つのテスト

### 会長挨拶

皆さん、こんにちは。

緊急事態宣言が6月20日まで延長された事により、本日の例会と6月17日の例会(下期納会)も対面式での開催は出来なくなってしまいました。事実上、今年度のスケジュールはこのまま皆さんとお会いすること無くエンディングを迎えそうです。感謝の言葉は最後の6月17日にお伝えしたいと思いますが、6月末までは会長としての職を全うさせて頂きたいと思いますので、もう少しだけお付き合いください。宜しくお願い致します。

本日の四方山話は「登山」です。

4月8日に分区移動のご挨拶兼ねて、名古屋大須ロータリークラブ様の例会に田中幹事と共にお伺いさせて頂きました。その際に、歴代会長でも有られました尾上昇氏の卓話を拝聴する機会に恵まれました。尾上氏はOMC株式会社の社長業(現会長)の傍ら、日本山岳会の会長も2009年～2013年まで務められていた方で、東海高校在学中より山を親しむ様に成ったそうです。その後、大学に進学されると本格的に登山にのめり込む様になり「いつかはヒマラヤへ」という思いを持つようになったと言います。卓話の内容は、尾上氏初となる海外登山「グリーンランド遠征」での出来事を貴重な映像と共に話し頂きました。

私が大変印象に残ったのは、やはり「なぜ人は山に登るのか」という本題の部分でした。海外登山や国内の厳しい山登りは、時に危険を伴い、その登山行為が死に至る結果となる事もしばしば起こると尾上氏は言う。自身も3度ほど死を感じた経験や、仲間を雪崩に飲み込ませてしまった事、山で命を落とした友人の葬儀委員長を務めた事もあると…。

山の楽しみは人によって千差万別であるが、尾上氏は、「山に登る喜びは達成感」であると位置付けている。頂上に立った過程が厳しければ厳しいほど、苦しければ苦しきほど比例して達成感は大きくなる。しかし、頂上で握手をしたり喜んでる写真を見るが、あれはポーズで、厳しければ厳しいほど帰りの下山が心配になる。登山では登りより下山の方が危険だと言われる。本当に登頂して喜んでいるとするなら、それはたいした登山ではな

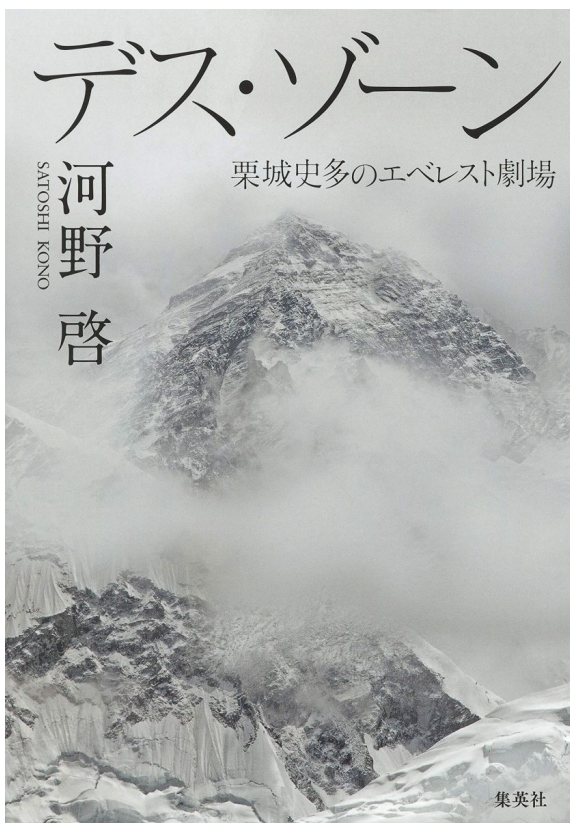
いらしい。そして無事に安全圏に降り立った時に安心感と「やったぞ!」という達成感と喜びが湧き上がってくる。その登山が厳しければ厳しいほど、苦しければ苦しいほど達成感は大きくなり、身体中にアドレナリンが駆け巡り気分は最高潮に達する。そうすると人は、もっと強い刺激が欲しくなる。山は麻薬だと表現されるとおり、まさにアドレナリンという麻薬中毒に犯されていると言える。これが、人が山に登る理由という事だと…。

私はここで一人の登山家を思い出した。ご存知の方もお見えになると思いますが「栗城 史多(くりきのぶかず)」



七大陸最高峰を単独無酸素で登頂を目指す冒険家です。彼は2018年5月21日にエベレストで滑落死をしている。当時私は彼の死をテレビで知り、非常にショックを受けたのを今でも覚えている。彼を知るきっかけとなったのは、たまたま点けたテレビで特集されてるのを見てだが、彼は普通の登山家では無かった。単独無酸素というだけではなくエベレストに登る過程をライブ配信していたのだ。何度も失敗し、それでも再びエベレストに挑む姿は見る者に勇気と感動を与えた。彼は4回目の挑戦で右手親指を残し9本もの指を凍傷で無くす事になる。しかし、その後も彼のエベレストへのチャレンジは続いた。

以前のテレビ番組で、登山家の服部文祥氏は「あの登山家の栗城くんは?」という質問に対し「彼は市民ランナーレベルで、登山家としては3.5流」と言って出演者を驚かせていた。私も驚いた一人だったが、去年の12月に彼の事を書いた本『デスゾーン 栗城史多のエベレスト劇場』



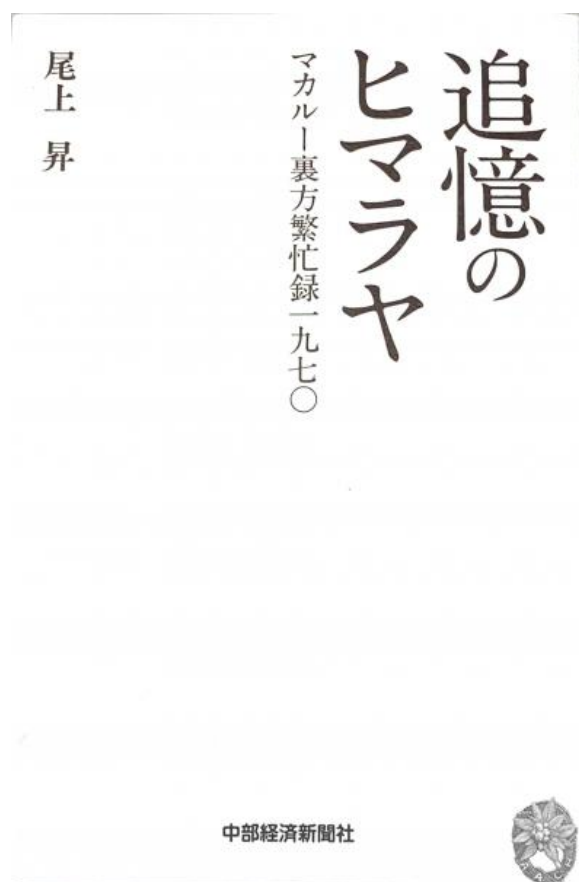
が出版されていたので読んでみた。内容は、栗城史多の幼少期から登山家になるまでが序盤に書かれているが、そこでは、簡単に言うと“イイ奴”である。しかし読み進めて行くと、私の栗城史多のイメージが一変して行くと

同時に、前述した服部文祥氏の発言が腑に落ちてくる事となる。本には「単独無酸素での七大陸最高峰登頂」という言葉の“トリック”や、9本の指を無くす事となった有り得ない凍傷の仕方の謎。リアルタイムで登山位置が分かるようにと自身に付けていたGPSの“不可解な”動き。命を落とす事となった最後のエベレストでの絶対に登れるはずのない超危険なルートを選択。彼を死に追いやったのは何だったのか。栗城史多とは…。などなど著者の独自の取材と多くの人々の証言により明らかにされていく。本の宣伝みたいになってしまいました。

話を元に戻すと、栗城氏も山を登るといふ麻薬中毒になっていたかどうかは分かりませんが、どんなに厳しくても、どんなに危険でも、絶対に生きて帰って来なければ意味は無い。だってアドレナリンは安全圏に降りてきた時に初めて分泌されるのだから…。

そこで、そんな危険な登山ではない、皆んなが楽しく参加できる同好会の希望を募りたいと思います。こんな同好会があったら楽しそうだなとか、こんな同好会なら参加したいというジャンルをコメントに記入(複数可)して下さい。宜しくお願い致します。

名古屋大須ロータリー様の例会会場を後にする時に、尾上氏より自身が書いた書籍『追憶のヒマラヤ マカルー裏方繁忙録一九七〇』



を頂いた。『デスゾーン』と併せて事務局に置いておきますので興味のある方は是非!

## 幹事報告

- 本日は新型コロナウイルス感染症拡大予防の為、HP上(E方式)での例会開催となります。
- 6月ロータリーレート 1\$=109円
- 会長エレクト研修パートⅢが会場開催から書面による質問回答方式へ変更となり、鈴木会長エレクトにご対応頂きました。
- 本日18:00～東急ホテルにて西名古屋分区会長幹事会(会議のみ)が開催予定です。会長、幹事にて出席予定です。

●6/16開催予定の名古屋市内ロータリークラブ社会奉仕委員長会議に山下社会奉仕委員長、出口次年度社会奉仕委員長が出席予定です。

●**次回例会**(下期納会)6/17(木)はHP上でのみの開催を予定しております。

前後に会議等の予定はございません。

## 委員会報告

### 【出席委員会】

・出席率

(前回)

第108回通常例会(5/20)

出席率:47/47名 100%

※出席免除者除いて計算

### 【ロータリー情報委員会】

～ロータリーの友6月号おすすめページ～

P7～私たちの自然の中で

近年国際ロータリーが重点分野のひとつに「環境」を加えたことで、ロータリー会員がこれまで行ってきた環境保護活動などが掲載されています。

P22～新型コロナ体験 得たこと 失ったこと

をテーマに各ロータリーのさまざまな現状などが掲載されています。

## その他

～会員スピーチ～

山下智己社会奉仕委員長より

### 弊社のコロナ事情

#### 【コロナ感染状況】

弊社社員およびその家族のコロナ感染者が7名となりました。そのうち3名は入院となりました。90代の家族はコロナの症状と隔離のため歩行が困難になり寝たきりとなってしまいました。40代の営業員は熱がなかなか下がらず、熱が下がったあとは肺炎が発見され入院となりました。また、上記人数には含まれませんが、社員の親族もコロナ感染で亡くなられたそうです。対岸の火事であったコロナがヒタヒタと足元まで忍び寄っています。

#### 【感染源】

上記の感染家族は3家族になります。3家族の感染源は全員20代の若者です。

1人目は大学生です。アルバイト先でクラスター感染。家族には感染せず。

2人目は会社員です。勤務先ではクラスターなどが無いため感染源は不明。公共交通機関は使っていました。最近では感染ルートの特定は難しいようです。家族3名に感染。

3人目も会社員ですが、知人と休日に会って感染したようです。家族1名に感染。

#### 【コロナ対策】

弊社としては昨年からの感染予防のために、紫外線照射型空気清浄機の設置、アクリル板によ

る飛沫感染防止、アルコール消毒の徹底、リモートと積極的な対応をしました。おかげで社内への感染は防いでいます。

### 【コロナ対策の問題点】

社員家族が感染した場合で問題点があります。それは感染者の隔離が難しいことです。

- ①現状感染者が増えてきたため隔離ホテルが開いていない。
- ②感染者が子供の場合、単独隔離は難しい。
- ③感染者が高齢者の場合は入院が望ましいが病床が少ない。

いずれの場合も陰性家族は感染者から離れて生活する場所が必要です。以上のことを考えて、弊社空き部屋を用意して、陰性濃厚接触者の隔離施設を準備しています。

ワクチン接種が進み、感染者が抑制されることを心より願っております。

## 金子彰宏プログラム委員長より

本年度プログラム委員長をつとめさせていただきました金子です。

ここ一年以上、コロナ渦の中でロータリー活動を含めて、あまり良い環境でように思います。プログラム委員長を拝命しましたが、ほとんど何かした記憶もせずに終わった気がします(本当になにもしてないことも事実です。)

私自身、税理士という商売柄、多くの会社を見てきました。

そこで思うことは会社経営で大切なことは、模倣の大切さだと思います。

私自身の狭い経験ですが、お客様も含めて会社の内情を何百社とみてきました。成功した会社の中で、本当の意味で新しい事業(まだ誰もやったことない、もしくは成功させたことのない)を立ち上げて、成功させた会社を私自身は直接的には見たことはありません。

私の知っているケースでは、成功している同業他社を徹底的マークし、模倣した結果、三年ほど前に会社を上場することが出来た会社もあります。

当然、経営者としての取捨選択はありますし、模倣だけして成功するわけではありません。本人の経営センスが成功の大きなウエイトを占めているということは重要ではありますが、良いものを参考にしより良いものを創るというのが経営の成功手段だと私自身は思っております。

模倣の経営学という話で最近知って感心したことでありますが、

皆様も見たことはあるとは思いますが、下記画面はヤフー・ジャパンの昔の画面となります。



多少内容が違いますが、2010年ぐらいまでこの画面でした。

ここで問題です。

ここで、一番上から、

芸術と人文

ビジネスと経済

コンピューターとインターネット

教育

エンターテイメント

政治

・・・とタイトルが並んでいますが、  
この並び順はどのような理由で並んでいるか知っていますか？

実際みんなが見たい順に並べているといった需給バランスとは違います。

(みんなが見たい順に並んでいるとは思えません。見たい順に並べたら、エンターテイメント・趣味とスポーツとかが上位になるかなと思います。)

答えは下を書いてあります。ヒントは模倣です。

答えは

日本版であるヤフージャパンを作成する際に、米国版ヤフーのトップページをまるっきりコピーしたそうです。

だから、アルファベットで読むと

Art・・・芸術と人文

Business・・・ビジネスと経済

Computer・・・コンピューターとインターネット

Educate・・・教育

Entertainment・・・エンターテイメント

といった並びをしています。

なぜそうしたかと言うと、孫正義氏がまずは米国版ヤフーという成功事例をすべて模倣することから始めよ。工夫するのはその検証をしてからでよいという大号令のもとそうなったと、元ソフトバンクのSEから酒の席で熱く語られました。

本当に孫正義氏が言われたかどうかは確認してはいません(出来るわけありません。)。米国版ヤフーと日本版ヤフーのデータ連動をミスなく行うためといったことが一番の理由ではないかとは私は思いますが・・・

偉い人のこの人がこう言ったといった逸話はいたるところにあります。ですが、孫正義氏のような偉大な人でも何事も模倣から入るべきだと言ったという逸話が一般的に流布されているほど模倣の経営学と言ったものが重要ではないかという逸話の一つとしてご紹介させていただきました。

ちょっと話は、税理士として真面目な話変わります。

消費税のインボイス制度というのご存じでしょうか？

細かい説明はインターネットを検索すればすぐ出てきますので割愛します。

問題点は、今までは免税事業者(消費税の納税義務が無い事業者)に対して支払った消費税を仕入控除に算入することが出来ましたが、今後は段階的に認められなくなります。その制度が2023年10月より開始されます(完全施行は2029年10月)。まだ二年半後だからそんなに急がなくても大丈夫でしょ?とは思われるかもしれませんが。

消費税の基本的な考え方が受取った消費税(売上10万円だとしては消費税は10%の1万円)から支払った消費税(仕入・通信費・家賃などで支払った消費税)を差し引いた金額を税務署に納める必要があります。免税事業者へ支払った消費税は差し引くことが出来ないということです。

例えば

売上 100万円 (消費税10万円)

仕入 80万円 (消費税8万円)

差引 20万円 (消費税2万円)

今までは消費税を2万円納めればよかったのですが、今回の場合、仕入が免税事業者であった場合、2029年10月以降であれば、税務署へは10万円を納める必要が出てきます。

2023年10月～2026年9月は3.6万円納付

2026年10月～2029年9月は6万円納付

経理作業も増え、処理も煩雑となることが予想できます。

中小企業の経営者にとっては、かなり死活問題になりかねない問題かなと思っており、事前にしっかりとした認識と対応を準備する必要があります。今からころころづもりをすることをお勧めします。

また皆様とコロナなど気にせず、マスクすることが常識でない会食できる日を楽しみにしております。

参加は下記フォームよりコメントして下さい